



高 1

英語 T	入試頻出である「仮定法」をテーマに、英文法・英作文及び英文読解の指導を行います。英文法・英作文では、基礎の確立とその応用を中心に、英文読解の授業では実際の入試英文を素材として、複雑な英文の構造分析と解釈の技術を学びます。
英語 H	高校英文法における重要単元の一つであり、英語の理解には欠かすことができない「仮定法」の習得を解説と演習を通してはかります。仮定法を根本から理解した上で、文法問題を解けるだけでなく、大学受験に向けて英作文、英文読解にも応用できる力を育成します。
入試英文法	「準動詞」「関係詞」「比較」の単元を大学入試水準の問題を用いて演習し、解説を通して応用力を身につけます。また、文法問題だけではなく、長文問題の演習も行います。独立した各単元の解説、復習や、文法問題の演習を中心に行いたい方は「実践英文法」を受講してください。
実践英文法	高校入学後に学習した英文法のうち、重要項目を復習する講座です。基礎の確認に加え、問題演習と解説を通して、実践的な知識の習得もはかります。冬期講習から入会される方を含め、高1の間に英文法の基礎を確立させたい方におすすめの講座です。
数学「三角比」 T	数学Ⅱの単元である三角関数について講義、演習する講座です。単位円の弧の長さで角の大きさを表す弧度法を導入したあと、三角比からの自然な延長として三角関数を学びます。三角関数の本質である周期性、そして加法定理と合成に重点を置き、4日間でハイレベルな問題も扱い、この単元を習得します。
数学「三角比」 H	数学Ⅱの単元である三角関数について講義、演習する講座です。単位円の弧の長さで角の大きさを表す弧度法を導入したあと、三角比からの自然な延長として三角関数を学びます。三角関数の本質である周期性、そして加法定理と合成に重点を置き、やや高度な事項まで含めこの単元を習得します。
数学「三角比」 S	数学Ⅱの単元である三角関数について講義、演習する講座です。この単元は怒濤のように出てくる公式に面食らいがちですが、それに振り回されることなく、三角関数の本質である周期性をしっかり押さえ、加法定理と合成に重点を置いたメリハリのある授業で基礎～標準レベルの内容を確実に習得します。
数学「場合の数・確率」 (上級編)	場合の数・確率は高1で学習する数学Aの単元でありながら、受験生でも苦手とする人が多く、さらに入試では難問もよく出題されます。本講座では定期テストレベルから入試レベルへの橋渡しを行い、本質の理解に基づく、高度な思考力の養成を目指します。
数学「場合の数・確率」 (標準編)	場合の数・確率という単元は、公式を当てはめて解くだけでは教科書レベルを超えることはできません。たかが「数える」、されど「数える」。数え方の基礎から復習を行い、公式の意味や使い方を解説し標準レベルの問題が解けるようになることを目標とします。
現代文・古文	現代文を2日、古文を2日扱います。現代文では「対比構造」や「言い換え」の読み取り、古文では「人物把握方法」や「文法を活かした読解方法」などを中心に、読解力の基盤となる力を養います。国語に不安のある人、何となく読んでいる人、もっと伸ばしたい人、いざ給へ。

## 高2

英語 T <b>150分</b>	that, as, butの使い方を品詞と用法に分けて整理し、機能語の知識を高い水準で体系化していきます。英文読解は、東京大、京都大、大阪大、国公立医科大の英文を素材とし、倒置・強調、省略・共通関係、挿入構文を含む英文の構造分析とマクロ的（巨視的）読解法を学びます。
英語 H	大学入試頻出の「同格」と「名詞構文」について、難関大学入試問題の英文などを用いて指導を行います。英文読解において重要な要素が含まれていることが多い同格とその構造、及び下線部和訳問題でも頻出の名詞構文について整理しましょう。
英語 S	大学入試頻出の「同格」と「名詞構文」について、比較的短い例文も用いながら基礎を固める指導を行います。英文読解において重要な要素が含まれていることが多い同格とその構造、及び下線部和訳問題でも頻出の名詞構文について整理しましょう。
必修英文法（上級編）	構文理解から英作文まで対応できるように、「時制」「仮定法」「関係詞」「比較」にしばり演習、解説を行い英文法の応用の方法を学びます。基本事項の整理が行われていることを前提として指導を行なっていきますので、事前に該当範囲を復習しておきましょう。
必修英文法（標準編）	文法問題に対応できるように、「時制」「仮定法」「関係詞」「比較」にしばり演習、解説を通して基礎の整理を行い様々な形式の文法問題を解けるようにするだけでなく、構文理解につながるように指導を行います。文法の基礎が固まっていない方や冬期講習から入会される方にもおすすめの講座です。
数学 I A II B - T	「方程式」「不等式」「いろいろな関数」の各単元についてハイレベルで講義・演習します。解説では単に問題の解き方を紹介するのではなく、なぜそのような考え方をすると問題が解けるのか、そのプロセスおよびいろいろな解法を紹介します。
数学 I A II B - H	関数や方程式・不等式を中心に、入試問題に対応できる力を養成します。定期テストレベルの問題から入試標準レベルへの橋渡しのみならず、発展問題のアプローチの方法を講義します。1月期以降も引き続き受講していただくことにより、数学IAII Bの全範囲を征服し、得点源としてください。
数学 I A II B - S	関数や方程式・不等式を中心に、教科書レベルから入試基本問題レベルの内容を完全にマスターし、入試標準レベルへの橋渡しも行います。公式類の知識が中途半端になってしまっている人は、まずは本講座で基礎固めを行い、大学受験への準備を進めましょう。
数学 III - T	数学IIIの重要単元である数列の極限について講義、演習する講座です。数列の一般項や和のnの値を大きくすれば、どのような値になっていくかを考えていきます。基本概念の解説、公式の証明、その活用法の演習という流れで、やや高度な事項まで含め、この単元を習得します。
数学 III - H	数学IIIの重要単元である数列の極限について講義、演習する講座です。数列の一般項や和のnの値を大きくすれば、どのような値になっていくかを考えていきます。基本概念の解説、公式の証明、その活用法の演習という流れで、この単元を習得します。
現代文・古文	現代文を2日、古文を2日扱います。現代文では「対比構造」や「言い換え」の読み取り、古文では「人物把握方法」や「文法を活かした読解方法」などを中心に、受験生として身につけるべき力とその習得方法を提示します。国語に不安のある人、何となく読んでいる人、もっと伸ばしたい人、いざ給へ。
物理 H	力学の最終テーマである「単振動」について講義します。入試出題率が非常に高いテーマのため、基礎となる原理をしっかりと理解した上で、演習を通してそれらの原理の使い方を自分のものにしていただきます。4日間で様々なバリエーションの問題を扱い、単振動についての理解を深めていきます。
化学「有機化学」 H	高校化学の範囲である有機化学の前半の「炭化水素」「アルコール・エーテル」「アルデヒド・ケトン」「カルボン酸・エステル」までをゼロから講義していきます。この講義では応用が利くように反応機構を交えながら、暗記に頼らない本質の理解を目指します。
日本史	人類誕生から始まり、集団の形成、そして天皇中心の中央集権国家として成立していく過程である「原始・古代」の講義を行います。単なる暗記科目ではなく、「歴史のつながり」を意識することで飛躍的な向上が実現できる日本史。この講座で大学入試の日本史を知り、「歴史のつながり」を体感しましょう。



高3

京大・阪大英語 150分	英文読解では、構造分析と下線部和訳、マクロ的読解法、前置詞の総整理を行います。論理的思考力を養成するだけでなく、専門用語や難語を含んだ抽象度の高い英文の読解法を学びます。英作文では、「書くため」の英文法を習得することを目標とし、添削指導を通して自然な英文の書き方を学びます。
国公立大英語	難関国公立大で出題される抽象度の高い読解問題を扱い、正確な構造分析とパラグラフリーディングを駆使して、下線部和訳や説明問題などの記述形式に対応する力を身につけます。英作文では、頻出のテーマを扱いながら、得点するための和訳技術を確認します。
関関同立大英語	年々語数が増加傾向にある入試問題に対応するために、文章の大意を把握することに主眼をおいたパラグラフリーディングを中心に英文の読み方を整理します。また、パラフレーズ問題、空所補充問題、内容一致問題などの形式の解法を学び、関関同立などの難関私立大の総合問題演習を行います。
私立大英語	関関同立・産近甲龍など難関私立大の長文問題を攻略するため、最近の出題傾向に合わせた頻出構文と読解のテクニックを効果的に学びます。特に私立大特有のパラフレーズ問題、空所補充問題、英問英答問題、内容一致問題などの解法を中心に総合問題演習を行います。
英文法・語法 ファイナルチェック	センター試験や難関私立大で出題される文法・語法の知識を総復習します。頻出の文法や表現を中心に択一問題や整序英作文など様々な問題形式で総合問題演習を行い、今まで蓄積してきた断片的な知識を整理することで確かな得点力を養成します。
センター英語	センター試験の模擬問題を用いた演習とその解説を通して、センター試験ならではの独特な問題とそれに対応した攻略法を重点的に指導します。加えて、過去に出題された問題などを用いながら、さらにもう1問得点するために必要な考え方の習得をはかります。
京大・阪大数学 I A II B	数学IAIIBの内容の総合演習および解説を行います。解説では単なる解答にとどまらず、なぜそのような解法をとるのか、その最初のアプローチや数学的な発想法を重点的に説明し、初めて見る問題に対応できる実力を養成します。また、問題の難易度の見分け方や、論証の方法などの実戦力も養います。
国公立大数学 I A II B	神戸大、大阪市大、大阪府大などの難関国公立大合格を目指し、数学IAIIBの入試頻出問題をを中心に演習および解説を行います。定理・公式の活用法やアプローチの方法を中心に講義し、初めて見る問題でもその流れを読んで確実に解ける高度な思考力を養成します。
私立大数学 I A II B	難関私立大合格を目指し、数学IAIIBの基本事項の整理から始め、入試標準レベルの問題を確実に得点するための考え方や解法、限られた時間内で効率良く解くための計算方法などを中心に説明し、入試本番で8割以上得点できる実戦力を養います。
京大・阪大数学Ⅲ	数学Ⅲの内容の総合演習および解説を行います。数学Ⅲの典型問題はもちろん、思考力や計算力を要求される問題を扱い、答案を最後まで書き上げる力を確かなものにします。特に計算力の問われる数学Ⅲの問題の中でしっかりと思考し、最後まで計算をやりきる力を磨きます。
国公立大数学Ⅲ	神戸大、大阪市大、大阪府大などの難関国公立大理学系学部合格を目指し、数学Ⅲの総合問題について講義・解説を行う講座です。入試頻出の良問を通して典型的な手法と確かな計算力を身につけ、国公立大2次試験において数学Ⅲを得点源にすることを目標とします。
私立大数学Ⅲ	難関私立大理学系学部合格を目指し、数学Ⅲの内容の総合演習および解説を行います。数学Ⅲの典型問題はもちろん、思考力や計算力を要求される問題も扱います。最後まで答案を作成する力を確かなものにします。しっかりと思考し、最後まで計算をやりきる力を磨きましょう。
センター数学 I A II B	数学IAIIBの全範囲について最終的なトレーニングを行います。基本問題は確実に正解することはもちろん、高得点を目指すための計算の流れも再確認します。またミスしやすい要注意ポイントを押さえることで、本番では安心して受験できるようになるでしょう。※数学IAのみ2日間受講も可能です。
私立大現代文	敬語や助詞を利用した人物判定、速く全文の流れをつかむ読解方法などの再確認をしつつ、私立大入試で頻出の客観問題の選択肢を絞り込む方法の習得を図ります。また、知識の盲点となりがちな文法識別問題や和歌の分析方法にも触れることで、知識の抜けがない状態を構築します。

高3

センター現代文	第一問の評論に関しては本文が長くなりつつあります。読むスピードがない受験生にはかなり不利です。そこで本講座では効果的に解答に必要な場所を絞って読み込む方法と、各選択肢にちりばめられたウソを見抜いて答えを選択する方法を指導します。特に国公立大理系志望の方に強くお勧めする講座です。
私立大古文	敬語や助詞を利用した人物判定、速く文全体の流れをつかむ読解方法などの再確認をしつつ、私立大入試で頻出の客観問題の選択肢を絞り込む方法の習得を図ります。また、知識の盲点となりがちな文法識別問題や和歌の分析方法にも触れることで、知識の抜けがない状態を構築します。
センター古文・漢文	センター試験の古文・漢文の読解において、文法力と単語力はもちろん大切ですが、選択肢を利用した本文の読解法など、センター試験の古典には独特の解法があります。センター試験独特の読解法を指導します。特に国公立大理系志望の方に強くお勧めする講座です。
国公立大物理	センター試験の出題形式に合わせた問題で演習を行い、基本事項の理解度を確認するとともに、問題文の中からいかに物理的現象を把握し、解き進めるかを講義します。物理の解き方を確認し、自信をもってセンター試験本番を迎えるため最終講義です。
私立大物理	力学、波動、熱力学、電磁気学（原子物理学を除く）の4分野を1回の講義で1分野ずつ扱います。合否の分かれ目となる「標準レベル」の問題を題材に、入試本番で解くための実践的な考え方を講義します。公式や原理は一通り覚えたのに模試や過去問で得点が伸び悩んでいる、という方にお勧めの講座です。
理系化学演習Ⅰ	化学の頻出分野である平衡、糖類、タンパク質、生化学を重点的に演習していきます。これらの分野を確実に得点することができたら他の受験生に差をつけることができます。この講座を受講して自信をもって試験に臨みましょう。
入試化学実戦演習Ⅱ	入試化学の全範囲から、総合的な問題演習を行います。毎回テスト演習の形で実施します。講義では問題の解き方にとどまらず、確実に得点できないといけない問題、合否を左右する問題、手をつけなくても合否に直結しない問題といった難易度の見分け方についても併せて解説して実戦力アップに繋がります。
センター化学	時間内にセンター形式の問題を解くことで実践力をつけていきます。残りの時間で解説を行い、重要な事項の確認を行っていきます。また、センター試験にも対応できるスピーディーで正確に正解を導く練習も併せて行います。この講座を受講して自信をもって試験に臨みましょう。
私立大日本史	様々な形式の入試問題演習を通して、知識の整理・深化だけでなく、知識をどのように使えば解答が導き出せるのかを提示します。難関私立大の入試問題には、単純な一問一答力では対処できません。4日間の授業を通して、確かな解答力を身につけて合格を引き寄せましょう。
センター日本史	本番を想定した予想問題演習により、センター試験で問われるポイントの最終確認を行います。センター試験本番で最初に受ける教科になるので、勢いをつけるためにも、単なる知識整理にとどまることなく、貪欲に高得点を狙っていくことのできる「設問に対するアプローチ方法」を習得しましょう。
日本史（文化史特講A）	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする映像講座です。古代文化（古墳、飛鳥、白鳳、天平、弘仁貞観、国風、院政期）を扱います。文化史用語は膨大な数がありますが、それでも文化「史」というからには「流れ」が必ずあります。政治・社会経済・対外関係など通史の流れをしっかりと関連付けることで文化史を「理解」して、武器にしましょう。
日本史（文化史特講B）	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする映像講座です。中世～近世前半の文化（鎌倉、室町、安土桃山、寛永、元禄文化）を扱います。武家政権の誕生、ヨーロッパとの出会いなど、古代史とは異なる特徴をもつ時代だからこそ、通史の流れをしっかりと関連付けることで、文化「史」を理解するだけでなく、通史の知識の底上げも図ります。
日本史（文化史特講C）	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする映像講座です。近世後半～近代の文化（化政、明治、大正、昭和、現代の文化）を扱います。現役生の多くが時間をかけないまま本番を迎えるこの単元を、得点源にすることは大きな武器になります。通史の流れをしっかりと関連付けることで文化「史」を理解するだけでなく、通史の知識の底上げも図ります。